

豊中市内で見られる蚊



コガタアカイエカ



アカイエカ



ヒトスジシマカ



蚊が媒介する主な感染症

疾患名	媒介蚊 (感染経路)	発生地域	潜伏 期間	主な症状	備考
<u>ウエスト ナイル熱</u>	アカイエカ、 チカイエカ、 ヒトスジシマカ (鳥→蚊→人)	アフリカ、ヨーロッ パ、中東、中央ア ジア、西アジア、 米国	2～6 日	発熱、頭痛、背部痛、 筋肉痛、筋力低下、 食欲不振、発しん	近年まで報告のなかったヨーロッ パやアメリカなど西半球に1990年 代中頃から流行が発生。
<u>ジカウイル ス感染症</u>	ネッタイシマカ、 ヒトスジシマカ (人→蚊→人)	中南米・カリブ海 地域、オセアニア 太平洋諸島、アフ リカの一部、タイ	2～12 日	軽度の発熱、頭痛、 関節痛、筋肉痛、斑 丘疹、結膜炎、疲労 感、倦怠感	ギラン・バレー症候群や小頭症と の関連が疑われている。性行為 による感染例あり。
<u>チクン グニア熱</u>	ネッタイシマカ、 ヒトスジシマカ (人など→蚊→人)	アフリカ、南アジ ア、東南アジア	3～12 日	急性の発熱と関節痛、 発しん	日本国内での感染、流行はない が、海外で感染した輸入症例あり。
<u>デング熱</u>	ネッタイシマカ、 ヒトスジシマカ (人→蚊→人)	東南アジア、南ア ジア、中南米、カ リブ海諸国	2～15 日	発熱で始まり、頭痛、 眼窩痛、筋肉痛、関 節痛	非致死性の熱性疾患であるデン グ熱と、重症型のデング出血熱や デングショック症候群の2つの病 態がある。
<u>日本脳炎</u>	コガタアカイエカ (豚→蚊→人)	日本、中国、東南 アジア、南アジア	6～16 日	発熱、頭痛、吐き気、 おう吐、めまい、意識 障害	感染しても日本脳炎を発病するの は100～1,000人に1人程度。大 多数は無症状に終わる。
<u>マラリア</u>	ハマダラカ (人→蚊→人)	東南アジア、アフ リカ、中南米	7～40 日	発熱、悪寒、倦怠感、 頭痛、筋肉痛、関節 痛	マラリア原虫の種類によって、4種 に分類。熱帯熱マラリアは、治療 が遅れると死に至ることがある。

蚊の対策①

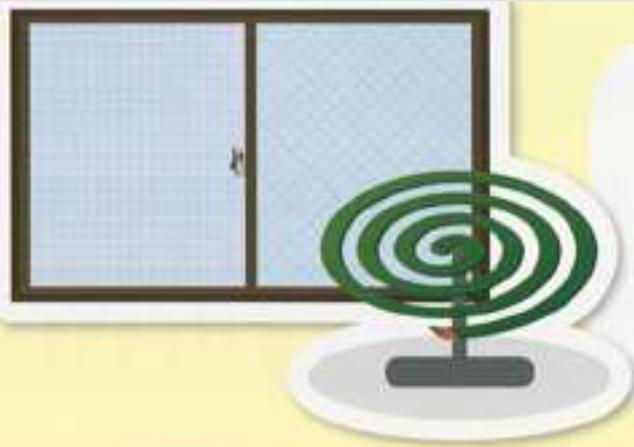
蚊に刺されないようにしましょう！



屋外で活動をするときは、
長袖、長ズボンを身につけましょう



皮膚が露出している部位には
虫除け剤を使用しましょう



網戸、蚊帳などを利用し、
屋内への蚊の侵入を防ぎましょう

侵入してしまった場合は
殺虫剤や蚊取り線香などで駆除します

蚊の対策②

蚊の発生を防止しよう！

ヒトスジシマカは、ちょっとした水たまりが大好きです。



屋外で放置していませんか？



バケツ



古タイヤ



空き瓶、空き缶、トレー



植木鉢の受け皿

対策

片付ける・伏せる・水を捨てる・雨の当たらない場所に置くなど水をためない工夫を



蚊の対策②

蚊の発生を防止しよう！

アカイエカは、排水溝などの汚水にも発生します。



なくすことができない水たまりはどうすればいい？



雨水ます

対策

防虫網を設置する



排水溝

こまめに掃除をして
水の流れをよくする



池の水

蚊の幼虫(ボウフラ)の天敵
となる金魚などを飼育する





ジカ熱・デング熱の感染源

ちゅうい ヒトスジシマカに 注意!

先生や保護者の方へ

暑い時期になると、蚊が発生します。特にヒトスジシマカはジカ熱やデング熱といった病気を持っているものもいます。

蚊から病気をうつされないためには、

- ①蚊をできるだけ発生させない ②蚊にさされない

ことが重要です。

ヒトスジシマカの発生を防ぐには、空き缶や遊具などのくぼみにできた小さな水たまりを作らないことが大切です。また、蚊のいそうなやぶなどに近づくときは、虫除け剤を使用したり、長袖・長ズボンを着用する事を推奨します。

お子様へ

バケツやじょうろのような水がたまる^{みず}ところは、蚊が発生^{はっせい}します。
水がたまらないように、ちゃんとしまっ^{みず}てね。



おくがい ほうち
屋外に放置された
こども
子供のおもちゃ



うえきばち さら
植木鉢の皿



あま
雨ざらしのじょうろ

※^{おも}重たいものをもつときは、^{せんせい}先生や^{ほごしや}保護者の方^{かた}におねがいしてね。



感染症の運び屋 蚊 から

バリアーで身を守れ!!!

- やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう!
- ジカ熱やデング熱の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう!

虫除け剤でバリアー



虫除け剤を使いましょう

服でバリアー



出かけるときは肌の露出が
少ない服装にしましょう

●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。



【ヒトスジシマカ】

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚生労働省 検索



デング熱 厚生労働省 検索

